



今月の編集は<札幌/細谷洋子・今村雅子>  
132号 400円

## ミニコミ特集Ⅰ

- 女の本のスペース<東海BOC>高橋ますみ…4  
ミニコミ喫茶<ひらひら> ……今村 雅子…6  
<猫の事務所> ……平岡・石本・高山…3  
『無名通信』 ……福田 光子…9  
『らんば一だ』 ……今泉 幸子…12  
『おひさまや野菜通信』 ……堀野 公子…13  
座談会一読み手から見れば ……札幌 有志…14

- インタビュー 白保があぶない! ……山田 征  
ききて、ナフィサ・ミナイ…18  
めじゃーなりすとのめ ……布施 優子…23  
<私の仕事>ソロバンからコンピューターへ  
……手塚 治子…26  
意見「かながわ女性会議」事務局長選任について  
……深沢 淑子…27  
海外女性情報—フィリピン女性の商品化 ……24  
『花の乱』を書く ……片岡 陽子…29  
国際フェミニスト用語 ……30  
女のつどい ……2  
あこらのあこら ……29



日	時	テ	マ	主	催	者	会	場	・	連	絡	先
7月9日(土)	10:00	17:00					中央労政会館(飯田橋駅横)					
7月9日(土)	13:00	17:00					主婦会館1Fホール(四谷駅)					
7月9日(土)	14:00	17:00					中野区婦人会館					
7月9日(土)	18:00	21:00					名古屋市婦人会館					
7月10日(日)	10:00						未次公園(松江市役所前)					
7月10日(日)	13:00	17:00					総評会館(お茶の水)					
7月13日(水)	18:30						ウィマンズ・ヘルス・センター(大坂)					
7月13日(水)	18:30	20:30					千代田公会堂	03125414428				
7月14日(木)	18:00	21:00					千駄ヶ谷区民会館	03140217854				
7月16日(土)	14:00	16:30					自治労会館6F	03125414428				
7月16日(土)	13:30	16:30					港区勤労福祉会館	03138512293				
7月16日(土)	13:30	16:30					弁護士会館	0521200311651				
7月16日(土)	14:00	16:00					中野区立婦人会館	03195117095				
7月17日(日)	14:00	16:00					神奈川県秦野市大根公民館					
7月21日(木)	18:30	21:00					千駄ヶ谷区民会館	03146319752				
7月23日(土)	13:00	15:30					国立婦人教育会館					
7月23日(土)	14:00	16:00					ウィマンズ・ヘルス・センター					
7月30日(土)	13:30	17:00					婦人教育会館	04931621671				
8月23日(火)	10:00	16:30					日本社会事業大学	03140217354				
8月25日(木)	15:00	19:00					婦人会館会議室	03137010238				
8月26日(金)	15:28	(日)					クレヨンハウス(青山)	40616492				
9月2日(金)	20:00	21:30					国立婦人教育会館					
9月4日(日)	14:00	16:30					じゃあん(渋谷)	03146417163				
9月6日(火)	17:00						秦野市立大根公民館	03143417575				
9月19日(月)	18:30						日本女子会館					
9月30日(金)	10:30	12:00					朝日ホール(有楽町)					
9月30日(金)	10:10	2日(日)					東海BOCスペース・ウイン					
10月5日(水)	17:00	(金)					スタジオ200(池袋)	98110111				
10月8日(土)	19:00	(日)					国立婦人教育会館					
ミニコミ発行者・読者・市民のミニコミトークイン							△住民図書館V					

# ミニコミ Minicommunication

## Part 1



女性解放や反公害運動など市民運動の台頭とともに、次々と生まれてきたミニコミ。自分の言葉で語り、自分を表現すること、必要な情報を自分たちの手で伝え合い力に合せていくこと、の確かさと楽しさは、どれほど私たちを自由にしてくれたことだろう。重い冬服を一枚一枚脱ぎ捨てるように、私たちは長い間女を縛ってきた女らしさを脱ぎ捨てて身軽になってきた。今はすでに廃刊になってしまったが「ミズジャーナル」や「女エロス」などをはじめ数々のミニコミたちが女の本の存在がなかったら、女たちを解き放つ運動も今日の広がりや深まりを持てなかったに違いない。

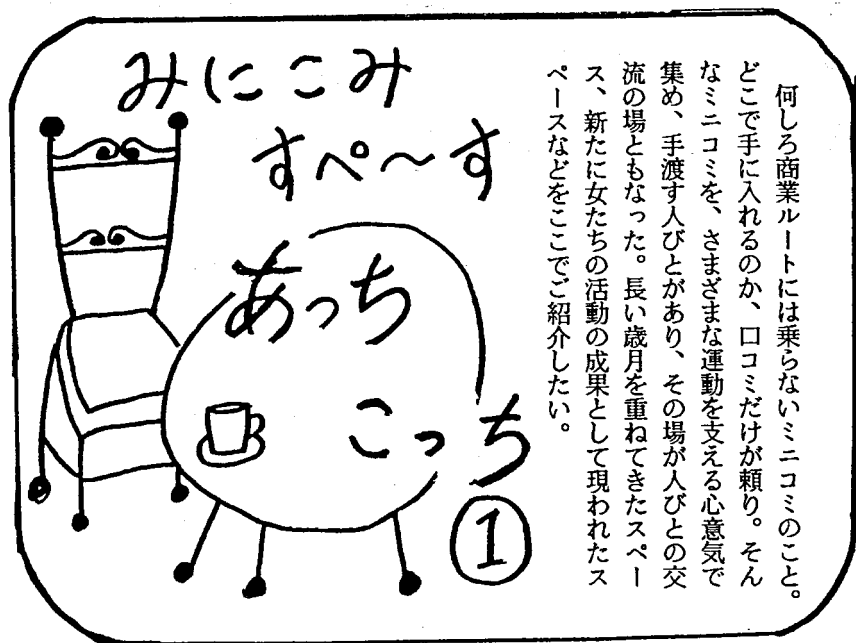
しかし、ミニコミはミニコミであるがゆえに、一部の人たちにしかその存在を知られていないものがほとんどである。不十分ながら、各地で今、どんなミニコミが発行されているのか、思いをこめてミニコミを作っている女たち、手渡している人たちをご紹介したいと思う。共に時代を生き、時代に異議申立てをしてきたミニコミたちの現在をお伝えできたら、そして新たなミニコミたちとの出会いを得られたらと願っている。

(細谷洋子)

お願い

11月号のパートⅡに、全国ミニコミ一覧を掲載します。  
お手持ちのミニコミを、ぜひお送りください。

何しろ商業ルートには乗らないミニコミのこと。どこで手に入れるのか、口コミだけが頼り。そんなミニコミを、さまざまな運動を支える心意気で集め、手渡す人びとがあり、その場が人びとの交流の場ともなった。長い歳月を重ねてきたスペース、新たにわたちの活動の成果として現われたスペースなどをここで紹介したい。



## 女の本のスペース

東海BOCへスペース・ウィン

〈東海BOC〉の事務所を兼ねた多目的スペースで、総ガラスのドアを押すと、ピンク電話の横に、催しもののチラシたちが、気ままに陣取っている。

「パート訴訟公判のお知らせ」「反原発平和集会」「日本舞踊の発表会」「絞りの売り出し」「世界人形フェスティバル」。

いずれも、グループネットワークを組んでいる人たちが持ち込んで、お茶を飲みながら雑談し、置いていったもの。中央にはテーブルが続けて三つ、椅子は小さいながらも二十人分。奥には、事務用デスクに狭い台所、それにちょっとおしゃれな鏡付きのトイレ。

このスペースで、英会話、フラワーデザイン、シャンソン教室、〈東海BOC〉主催のセミナーなどが定期的に開かれている。

ときには、陶芸、木工、手芸品の作品展に早替わりもする。

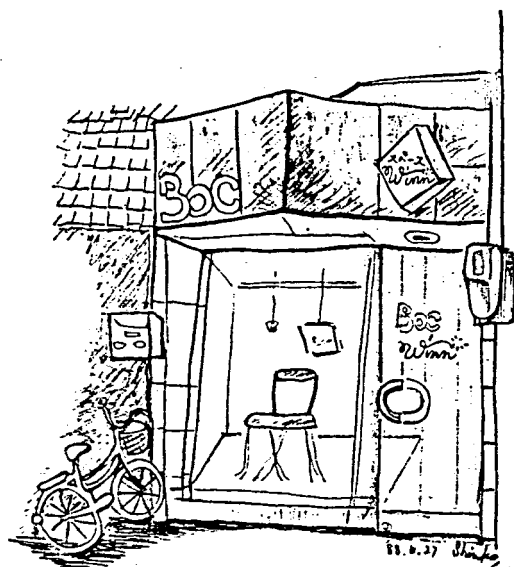
毎週火曜日の午後は、会員のおしゃべりタイムで、誰かが訪れ出会えて予期せぬ話題に花が咲く。

七月八月は、スタッフ全員が自宅勤務を原則にしているのが恒例で、スペースが閉まっていることが多い。ご来訪の折には事前にお電話をどうぞ。電話は誰かの家へつながるよう仕組んである。

入口左側の書棚には「あごら」のバックナンバーをはじめ、女の本がずらり。東京のBOC出版部から出た門玲子さんの「江馬細香」、山下智恵子さんの「幻の塔」、それに〈東海BOC〉が自ら手がけて出版した、長沼てる子さんの「市井からの発言」、森川久美子さんの「生き生きシンブル家庭料理」、奥村和子さんの「もう一つの暮し」、岩崎義信さんの「石筍」。

地元の著者たちにとっては読者との交流の場にもなっている。

「松阪屋の本店近くって書いてあったものだから、探し回ったのよ。ここって、あんがい人に知られていないのネ。もっと宣伝しなくっちゃ。二軒ほど手前に、組事務所があるでしょ。そこのおにいさんが親切に、教えてくれたのよ。私は三重県の日市から出て来た



名古屋市中区栄3-28-2  
☎052-251-9064

の」  
「私は岐阜の美濃市から朝早く」と先客。  
「ところで、「女40才の出版」を書かれた、高橋ますみさんて、どの人？」  
「そこに椅子を並べて昼寝している人よ」  
「本当にこの人？ イメージダウンネ」  
人と本と手作り作品の出会いの場でもある。

(名古屋 高橋ますみ)



全国的に名を知られたミニコミ喫茶（ひらひら）。名前だけは聞き及んでいたけれど、足を踏み入れたことがない。今回は連れを確保してやっと行き着いた。場所は北海道大学のすぐそば。コミックばかりじゃない老舗の古本屋、古レコード屋、定食屋など、真新しいビルの少ない一画。大きな看板の出ている喫茶店のそのまた奥の狭い入口。入ったとたん、首を回さなくてもすべて見渡せる小じんまりしたスペースにミニコミをぎっしり積み込んだ本棚。壁はさまざま（といっても反原発関係が多かった）ポスター。ドキュメント壁新聞。

ゴチャゴチャとパンフ、新聞、ミニコミを積み上げたカウンター奥が厨房。そこから男性が一人、エプロンがけで現われた。

これが、自称三十七歳の春を元気に突っ走っている専従の（しゅんちゃん）こと大嶋氏。

一九七四年、リブの女たち九名が、駆け込み寺的フリースペースをと開設。主にリブ関係のミニコミセンターと小集会

もできる喫茶でやってきたが、四年間くらいで経済的にゆきづまった。

一九七八年、一度は、あきらめようと相談のため集まったが、それまで貧しさを越え、力を出し合ってきた女たちのこと、やっぱり閉じるのはいや。こんなビラを書いて維持会員制度を施行した。以下ビラより。

「多くのありあまる情報が巨大なマスコミを通して飛び交う中で、私達は本当の情報を、直接的な人の声を、怒りのことばを、抵抗の心を、人との出会いを、大切にしたいと思います。ひらひらはそんな私達の表現の場であり、私達の声をつぶそうと必死になっている権力に立ち向っていく姿勢を取り続けていこうとしている場なのです。そのような場を求めている人達の小さな力を出し合って、ひらひらの維持、経営をしていきたいと思っています。多くの人達の参加を求めます。一口一ヶ月千円で、ひらひらニュースとコピー券一枚が支給されます。」

この時から「ひらひらニュース」が、二、三か月に一度の割で刊行されるようになった。専従一名と運営グループ数名、その時々ボランティア。リブを越えて、広くあらゆる市民運動、解放運動に関わる人の接点の場となって、十年間。いつつぶれるのだろうか、内外にささやかながら、とにもかくにも、今日まで持ちこたえているのだ。

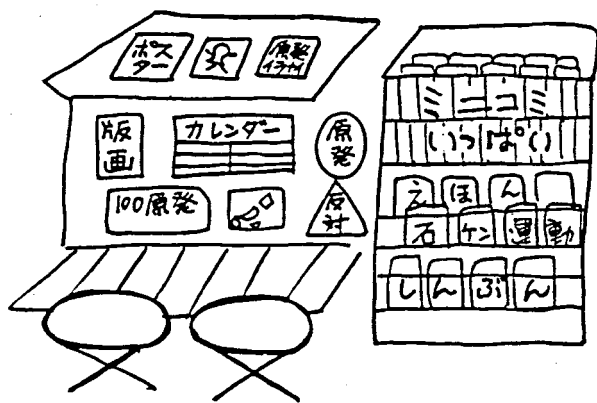
経営の相談で暗くなったとき、声あり。

「今まで六年間、しゅんちゃんを私たちで養ってきたんじゃない、何とかなるわよう」 恐しいほどのこの楽天主義。これこそ、〈ひらひら〉の底力なのかもしれない。

この十年、この場で展開された運動は、〈伊達火力発電所問題〉 〈反安保共同行動〉 〈反原発運動〉 〈セッケン運動〉 〈優性保護法改悪阻止〉 〈日韓連帯行動〉 など、さまざま。大嶋氏は、「運動が盛り上がっているときは、〈ひらひら〉も元氣。しかしその波をかぶってしか存在感がない、とも言える。専従の関わっている運動が、どうしても主になって、さまざまな運動の接点としての〈ひらひら〉が見えにくくなる」のが悩みと言う。

現在は〈住民会議〉 〈反原発ホッケの会〉 〈優保めざしの会〉 の連絡先となっているし、反原発運動の拠点、政治犯、指紋捺捺問題などがメインの活動。ここで映画上映会をすることもあるし、昨年度はイベント87ネグロスの講座を開講した。もちろん全国のミニコミ（点数は不明）、セッケン等の販売、貸本、レンタルルーム、喫茶もやっている。いま一番売れ筋のミニコミは「食卓に上がった死の灰」だそう。いつでも、どこでもぶつかる赤字財政は解決されていず、〈ひらひらニュース〉最新号には、維持会費値上げやら、ポ一ナスカンパのお願いやらが大きく載っている。養ってもらっている（？）しゅんちゃんに経営難は最も重くのしかかる。しかし十年目にもたれた相談会報告にあるように、「ひら

ひらは互いに共有するどのような思想を獲得してきたのか、私達はどのような未来をつくりだそうとしているのだろうかという問いかけと、ひらひらとはどういう場か、また、場にこだわるだけではなく、十年余りの運動の蓄積とそこから得た視点を、より人々に問うていくことを含めて支え合っている」という精神で、今日も大嶋氏はじめ会員たちは、札幌のミニコミスペースを守り続けている。（札幌 今村雅子）



札幌市北区北18条西5丁目 18条ビル  
☎011-746-2801

# 猫の事務所



煙公害のない店で、お茶を飲みながらゆったり本を読みたい……と思うことはありませんか？

《猫の事務所》は、九州大学工学部の正門近くに、昨年十一月二日オープンした貸本屋＋本屋＋つらん喫茶＋古本屋です。約三十平方メートルの店内は禁煙で、四人掛けのテーブルが三脚あり、周囲には、本とミニコミが約三千冊ならんだ本棚、それに禁煙グッズが少し……というこじんまりしたお店です。

《猫の事務所》の経営者は中野光子さん。子どものころから貸本屋のおバさんにあこがれ続けてきたという中野さんは、福岡市の嫌煙グループ（タバコいやじゃの会）の代表でもあ

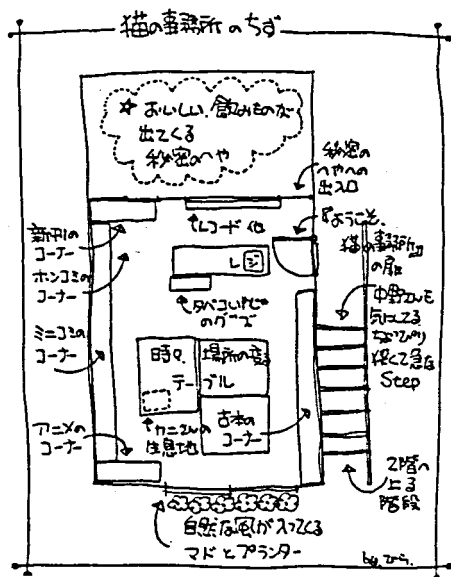
ります。お店を始めたのは、「今まで集めた本・ミニコミを一人占めしないで整理し、他の人にも読んでもらいたいと思ったから」。

《猫の事務所》という名前は、宮澤賢治の童話集「猫の事務所」をそのまま拝借したもの。宮澤賢治が好きで、猫も好き、という中野さんです。

現在置いてあるミニコミは、女性・原発・タバコ関係などなど五十種ぐらい。

一度のぞいてみてね。

（あこら九州）平岡・石本・高山記



福岡市東区箱崎3丁目10-6

☎092=651-9798

\* \* \*

た  
ち



河野信子  
さん

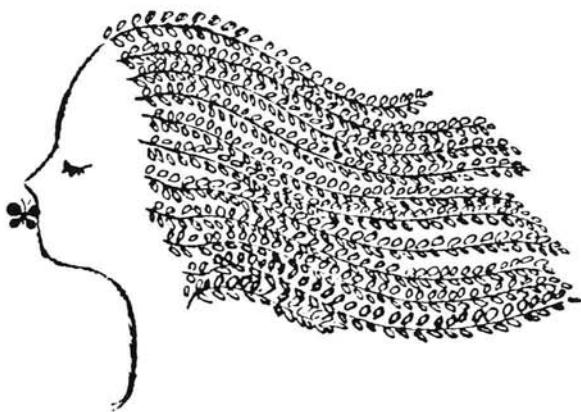
河野信子さんと四時間に及ぶインタビューを終えて「無名通信」から話題が限りなくひろがる中で、河野さんの思惟の

柔軟さ、自在さに  
私たちは酔いしれ  
てしまいました。

「無名通信」は、

すでに六年前の六月に廃刊になっておりましたが一九六七年から十五年に及ぶこの個人誌の内容の重みに畏れおおいとしか言いようのない感銘を受けました。創刊号の扉を飾る「無名のことば―創刊にあたって―」は並々ならぬ気迫を感じます。(次頁に掲載)

この個人誌を土壤として秀れた労作が世に送られ、これを濫觴として女の思いは醗酵の機会を重ねてきたことにひとつ



のゆるぎない歴史を感じます。一問一答の要点を次にかかげましょう。

『無名通信』を世に送るまでのいきさつは

一九五九年に中間市で森崎和江さんを中心に中村きい子さん、石牟礼道子さんたちと一緒に作り、約一年半続き、その後、それぞれ自分自身のテーマで仕事をしようということで休刊。一九六七年三月、個人誌として発刊、十五年つづきました。

反響は

朝日新聞がとり上げてくださり、その効果は大きく反響もありました。創刊号は五百部、十三号は一千部になりました。

原稿はどんなふうに集められましたか。

原稿は多すぎましたが、最初、外からの原稿が集まるようになるまで森崎さんのグループが寄せてくださり、年に四回、後に三回刊行としました。

なぜ、廃刊に

一貫した作業を自分の手で、と思っておりましたから忙しすぎました。また、経費の面でも印刷代や送料もかさみ、部数が多くなるほど、表書きなどの雑用もふえ、たいへんな面が出てまいりました。

今後、再刊を望む声は

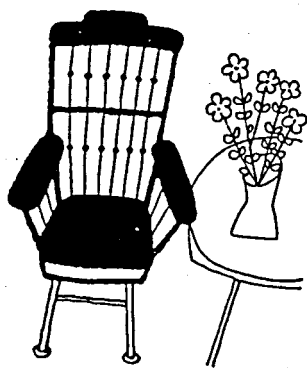
つくりたいとも思いますが、多分つくらないでしょう。書きおろしの仕事に、いまは時間をかけたいと思っています。

終わりに、「無名通信」の意味について

「無名」は「莊子」の中にあり「定義をはらう」「規定をとり拂う」という意味で、神、自然のみに用いられる言葉で、このことは後から考えてたいへんなネーミングをしたものだと思います。また、母・妻をはらいいたい、慈母観念を自分でとりはらい自在さを取り戻したいと思いましたが、どこまで自在を取り戻したか問題です。

「無名通信」は何となく始まり、そして何となく終わった、とても申しましようか。

(福岡 福田光子)



## 無名のことば

—創刊にあたって—（「無名通信」1967. 3. 1）

女たちは永い間、外部から女たちにあたえられる規定に耐えてきました。女性全体に通ずる生活規則がこの世に生れでるとすぐから動かしがたいものとして先行していることにさまざまな疑は提出されましたが、むしろ女に容赦なく迫ってくる画一主義を、女たち自身がこの画一主義のなかに住むことで安心し、画一主義を利用することで部分的な解放感を得ようとさえしています。

この画一主義を何よりも女たちの内部からとりはらうこと。「母、妻、献身的女性、永遠の女性などの言葉の渦に自己限定することを拒絶すること」これが一九五九年、数人の女たちが集って無名通信をガリ版刷りで出しはじめた出発点でもありました。

「外的規定による自己限定の拒絶」無名」は、△無名▽を心情のくさびとして打ち込むことによって、女たちの交流を本質的なものとして持ち合おうとする意識でもありました。集会を重ね、毎月毎月「無名通信」が発行されつつけていきましたが、本質的な交流を回復することもできずに、心情の奥深く「無名」という単語を抱いたまま、砂のような状況のなかに解体してしまいました。この解体の数年をわたしは、かすかに点滅する「女の集団性」を見失うまいとして生命を保ってきたかのようにもありました。時には、自己の死に先行されて、なおもぶざまな生き恥をさらしているのではあるまいかと疑いながら。ある時は、被支配の安楽さにのうのうと手足をのぼし、中学生や高校生に数学を教えることで、量的世界と子供たちの出会いや、概念や論理の操作にあえいでいる子供たちに、特殊な世界の言語が与える衝撃のつよさにむきになってつきあってきました。この日常的な空白を振りあわせたような期間を通じて、心情の奥深くひそませた「無名」へのこだわりを、再構成するところをいま開始しようと思っています。

これからの私の仕事は、女たちの存在のあらゆる側面、あらゆる体験、さまざまな理論が織り上げた女たちの歴史を通じて、女たちが未来を何によって生きようとするのかを追求することになるでしょう。女たちは、歴史の重みをおのれのどのような論理と交換しうる等量性に行きつくことができるのか。科学の結論と、個体条件の落差を意識し、個体条件を実験的な試みのなかに提出できるさまざまな可能性は女たちのものなのか。それともさまざまな分析の結果得た予見は絶望の深みに女たちを追いつめただけのものなのか。私が重ねていく分析によって得た論理が、状況の深みに達する言葉を得るであろうかということについて、わたくしは仕事をはじめのいまでも、苦痛をとまなう疑惑をしこりのように残しています。しかし仕事をつづけることで、女たちのなかに共有しうる殿堂が何であるかを知りたいものだとは思っています。

『らんぱーだ』



今泉幸子  
さん

ミニコミ紙「らんぱーだ」は、ロシア語で「ともしび」の意味。豊橋をJR飯田線で北上すること四十分、愛知県の奥三河の山間の町、新城市で毎月一日に発行されている。

発行責任者の今泉幸子さんは、主婦で、学習塾の主事者で、そして、三河地方を中心に地味で着実な女性のネットワークを作り続ける活動家でもある。

この春の上京の折には、新宿の（あごら）事務局を訪ねられて、会員手続きをとられたと聞く。

「らんぱーだ」の発行も、この八月で二十号を数え、創刊から一年半を経過した。B5判四頁だて、タイプ印刷の小さな新聞で、発行部数は三百ながら、三河の各地の農山村には、この「らんぱーだ」を毎月待ち望んでいる女性たちが、点在している。

重度身体障害者への仕事供給の配慮で、タイプを打つのは、車椅子の女性、印刷は、半身不随の青年が担当している。

「シルバレーディ時代、いま女友だちと話すこと」「あたり？はずれ？担任の先生」とか「農林業を考える、都市と田舎の共存」など、毎号、特集記事は農山村で暮らす生活者の視点で編まれている。

それに、女性問題の本の紹介欄、健康問題、ネットワーク情報、投稿、企画行事の伝達など盛り沢山。

「発行の動機は、外で働く女性が多くなり、昼間に集まる機会も少なく、何か事業をしたくても、情報を公平に伝えるにくなつて。「らんぱーだ」を読んでいただければ、私は知らせてもらえなかったとか、はばにされたなんて言いだす人もいなくなるし。企画行事も動員型ではなく、参加型にしかつたの。無料ではなく、気に入ったものには、参加費を払っていただくようにしたいの。行政の無料のものでも、税金がたくさん使われていることを意識したほうがいいと思います。」

（あごら）の全国ネットワークで、ミニコミを作っている人たちの集いをするのです。それぞれ三十部ずつ持ちよって交換会もかねて。」

幸子さんは、ストリート・ショートカットのオカッパ。素朴な雰囲気の中にも、次々と女たちを結ぶアイデアが口を吐いて出る。

（名古屋 高橋ますみ）

## 『おひさまや野菜通信』



堀野八公子  
さん

（おひさまや）は八年前、三人の女たちが始めた自然食レストラン。自然食品や石けんなども販売。しばらくして無農薬野菜の宅配も始めました。

毎週、野菜といっしょに届く「おひさまや野菜通信」は、そもそも「納品伝票」として始まったものです。B4サイズ一枚もの。時に土や、青菜の切れ端がついた通信は、みずみずしい旬の畑情報です。

通信を受けもっている堀野八公子さんの誌面づくりタイムは、遅番の木曜日の午前中。

とてもいい気分で書いているみたい。書くことをしほりこむのが大変でしょう。

子どもたちと田んぼや畑に行つて作業をしてくると、すぐ書きたくなりますね。モノを運ぶだけでなく、ドアのむこうで食べてくれる人にお百姓さんとの話や、収穫までの畑の

ようす、たとえば土のしめり具合や、雑草の伸び具合なんかも知らせたいですね。町のくらしと、田舎のくらしが、お互いに見え合うといいのですよね。

「野菜を扱っていることが今とても自分に合っているという堀野さんは、六年前、薬剤師の仕事から「たべもの畑」に飛びこんだ人。一人目出産の年は、なんとメンバー三人そろつて妊娠、出産の「妊婦館」おひさまや」でした。

働きながら子どもを産んで育てる、という環境もつくってきたわけですね。

企業にいて二人産んで、今みたいにいい気分で働き、子どもを育ててこられたかどうかは疑問ですね。出産も子育てもメンバーと、その連れ合いさんと共有してやってこられたのです。子どもたちもみんなとても仲がいいですよ。

子どもや、車椅子の人、そして自然の中にある小さな生きものの目線に合わせた働き方をしているからでしょうか。

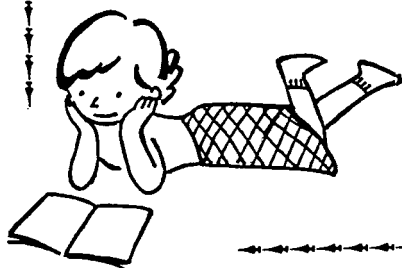
（おひさまや）のみんなはクルクルとよく働くのに、ちっとも気ぜわしさがありません。

堀野さんは、しばらく離れていた葉の勉強会にまた出始めるとか。油断すると薬漬け食品がみるみるうちに家庭に入ってくる時代。「おひさまや野菜通信」にはいいビタミンがたっぷり入っています。

（仙台 三船照子）

# △座談会▽

## 読み手から見れば……



△ミニコミって何だろう

A ミニコミについて語り合おうということなんだけど、こうして考えてみると、ミニコミとは何かがはっきりしてないのね。で、それぞれのミニコミに対するイメージから話してくれない。

B 本屋では売っていない。集会なんかに行くところ。無理やり買わされたり興味ある視点にひかれたりして買うもの。

ミニコミを買う時ってのは、その運動に賛同してお金を払うという感じで、中身

がもしろいから買うわけではないね。

C 発行を支えるためのカンパね。

A 対象が特定である。

B その対象に自分が入っていると思う時は買うんだよね。積極的に。

D テーマだけで買っちゃう。おもしろ

そうなテーマかどうかで。

E 今認められてないものの価値、ポリシーを、伝えたくてつくるんじゃない。

B マスコミが詳しく伝えてくれないことを伝えてくれるよね。

△ミニコミの役割

D その意味では業界紙なんかすごく詳しいよね。農業新聞なんかおもしろいよ。

C 「女とコンピュータ」っていう業界紙があるんだけど、興味のあることだからすぐおもしろいし、それじゃないと得られない情報があるのね。それと、ミニコミはかなり選べるわよね。

B そうね。マスコミというのはさほど選べないからね。ミニコミのほうが数はずっとあるわけだから。

C いろんなところから情報が入ってくるというのはいいよね。「交流」に出て来る家族なんか、こんな家族もあるんだなんてことわからなかったもの。

A 少数派の考え方や実践に出会えるってことね。

C 自分はマイナーな人間なんだと思っていたのが、「あ、お仲間がいた」って感じで安心したりして。

B マスコミであろうとミニコミであろうと、情報がある程度疑ってみることも

必要だと思う。それができるのはミニコミの存在があったからで、マスコミしかなかったらそんなふうに見ることもできなかったんじゃないかな。

D 嘘を見抜くには知識が必要だってことね。でも、知識を得るのは、ミニコミだけじゃないよ。

C でも、その一端をミニコミが担っているのは明らかよ。

A それももちろんだけど、知識だけじゃなくて、ミニコミによって感性が鍛えられた部分ってすごく大きいんじゃないかと思うの。文体もそうだし、語り口も個人の感性を大切にするじゃない。そうやって自分の感性を通して情報に接するようになると、知識のないことについても、うのみにしなくなるじゃない。

D なんとなく変だなんていう感覚は鋭敏になるね。

B 特定のテーマについては、根ほり葉ほり追究してくれるのはまさにミニコミならではのよね。それに、大体が正反対の意見なんて載らないから、ミニコミ

読んでもストレスがたまらない。

C ミニコミだって載ることもあるよ。

B でも、そういう場合はしっかりと反論をのせてくれるからいいよ。

〈場としてのミニコミ〉

A ミニコミだけでも会の機関紙でもある場合は難しいよね。討論の場としては、どんな意見を載せてもいいわけなんだけど、機関紙としては基本的な会の姿勢が基調になればならないわけでしょ。でも、きちんと署名をいれてどんどん議論したっていいじゃないかと思うんだよね。ミニコミってのは一つの場だと思っから。D ということは、全然反対の立場の意見でも載せるってこと？

A 受け手としては、反論にきちんと場を与えて欲しいと思うわけ。

D なんかマスコミと同じ感じになるんじゃない、反論も載ると。ミニコミって特殊なというか、一つの考え方の表現手段なんですよ。

A でも、伝えたい、より広く浸透させ

ていきたいということはあるわけだから、同じ考えの人たちが「そうだ、そうだ」というものだけ載せて、精神的マスターベーションになってしまっただけなんじゃない。基本的な信頼関係、共有性ということとマスターベーションとは、ちょっと違うもの。ただ、場が開かれているとか、反論も載せるとかいうのには、一定の信頼関係が必要なんじゃないかと思うね。それが意外と幻想だったりするもんだから、難しいのよね。

D 場のないミニコミもあるんじゃない。読者コーナーなんかのもあるよ。

A 場の機能というのは読者コーナーだけじゃないでしょ。次の特集テーマについての投稿を募集したりすることもあるし、原稿を送れば結構載せてくれるよ。C でも、来たものを選択はするよね。

D そこがポリシーなんだよね。

C マスコミのほうは何でも載せるよね。

B そんなことないよ。マスコミのほうが賛否両方が載るようになるとかやってくるよ。

C じゃ、マスコミもミニコミも変わら

ないんじゃないの。

A 逆よ。マスの機能を果たそうとしてそういうことするんじゃない。

B マスコミというのはすごく進んだ意見、ごく少数のものは取り上げないからね。ある程度定着しないと発表しないじゃないの。載せても肯定的な扱いはしないよね。ミニコミはそれができるじゃない。「いつの日か……」って感じできさ。

C クラライ。

B あら、そういうのはたくさんあるじゃない。初期のリップなんか、まともにはマスコミは取り上げなかったんだから。

A 言いたいことがある時に、「あ、あれに載せてもらおう」というのがあるというのとは、とてもいいことじゃない。言いたってことはどういうことなのかというと、世に聞きたいっていうと大げさだけど、「私はこう思うけれど、皆さんはどうですか」って感じね。

C なんかにこう確認したいみたいなの。

E ミニコミとか小グループとかのコーディネートっていうかな。ここに行け

ば、グループでもちいさなミニコミでもイベントでもみんなわかるっていう、そんなところがあるといいわね。自分がグループやミニコミを作る場合でも、ここに連絡すればそういうものを求めている人の目にふれるわけだし。

A 「あごろ」はそういう役割を担えるんじゃない。左からは生ぬるいと言われ、右からはラディカルだと言われているということは、ある意味で幅が広いということでもあるわけだし。これからの「あごろ」は全国に散らばっているさまざまなグループ活動をネットワーキングすることに力をそいでほしいと思うのね。

E それはほしいわね。去年の小田実の講演会で、運動のこれからの話になった時、横のつながりがすごく弱いって言ってたじゃない。バラバラでやるから今ひとつ大きな力にならないって。違いを認め合いながら一緒にやれるようになるには、それ意外にもいろいろ必要なことはあると思うけど、ネットワーキングが少なくとも第一歩にはなると思うのね。

A 市民運動とミニコミは切っても切れないものね。

〈ミニコミのおもしろさ〉

A 今までで、どんなミニコミがおもしろかった？ 私は「女の叛逆」の「女による女の集会の意味」という特集がおもしろかった。強烈だった。こういうものに出会うとミニコミはおもしろいって心底思う。

C マス出版社が出してる本の中にも強烈なパンチ力のあるものはあるわよ。

A 一冊の本になるほど、集大成もされてない、深化もされてないけど新鮮だって感じてあるじゃない。そういうものに出会うおもしろさよ。

B 単発ものだけど、大阪府発行の「女やるっておもしろい」あれはおもしろかったね。

A かしましカーニバルの報告集の「女が女と組むとき」おもしろかった。

B 特に後半の座談会がね。ああいうふうにもろに問題がさらけ出された時って

いうのは、深められるね。臭いものに蓋 ミニコミがたくさん発行されているとい  
じゃなくて、それをコヤシにして共通認 うことはまだまだ言論の自由が守られて  
識を得るところまでやりたいと思うわね いるということでもあるわけだし。

A 内輪話をしてるんだけど、個人批判 E 理解してもらおうという姿勢もしつ  
を通り越して問題の根っこまでとどく議 かり持ってほしいな。わかる人にはわか  
論になっているのね。なかなかあのレベ るっていうんじゃないくて。

ルまではやれないから、つい個人批判め A 基本的には私もそう思うけど、田中  
いたことや内輪話は見苦しいんじゃない 美津の「わかってもらおうは乞食の心」  
かと臆病になってしまうけど、表面的に という初期ラディカルリブの文体のわか  
美しくやっていると深まりもしないんだな りにくさが持つインパクトというか、あ  
ってことがよくわかるね。 れも捨て難いと思うんだよね。

B つまんないって感じるのは、作り手 C あれは言葉によって何かを伝えよう  
たちがただひたすらマスターベーション というより、気持ちを感じるようなもの  
やってくるからだと思う。読み手をきちん だったんじゃない。

と意識してやってくれば、それなりに A そうね。論理じゃなくて情念を伝え  
おもしろくなるはずだと思うな。 合っていたのね。まさに、あの時代を映

C 業界紙がおもしろいのは、受け手が してたんだよね。でもこれからは、論理  
はつきりしてるし、受け手をしっかり意 的にもわかりやすく、なおかつ情念も伝  
識してるからだよね。 わるような…。

B 読者が求めているのは何かをちゃん B 欲たかりと言うか、何と言うか。

とつかまえてるのよ。それができなかつ A でも、作り手の思い入れの深さと受  
け手の熱い期待こそが、ミニコミを育て  
ミもおもしろくする努力をしてほしい。 ていくんじゃない。



『女やるってお・も・し・ろ・い』

フェミニズムをこんなに愉快に表現し  
たものに出会ったのは、はじめて。これ  
で、大阪府・れっきとしたお役所発行の  
パンフ。桃尻娘のパロディーで、若い娘  
と中年の母親の意識の違いを浮きぼりに  
したり、フェミニズムをかるく解説し  
たり。上野千鶴子語録なんてのも載って  
いる。堅いページには「お役所が割込ん  
でくる章」なんてサブタイトルがにくい。  
『おんなの叛逆』No.24

特集テーマの設定の視点が鋭い。今号  
は「女による女の集会の意味」。女の集  
会に男を入れるべきか否かについて論じ  
ているが、自分はずせそう思うのかまで  
掘り下げた一文が強烈。

(発行・

久野綾子 〇五二八二二二五五〇〇)

小さな島に空港が二つも必要でしようか。空港建設に揺れる島、沖縄石垣島。この島の白保では今、国と沖縄県が進める埋め立て、新空港建設によって、エメラルドの海と白いサンゴ礁が危機的状況におちいつています。

九年前、豊かな海を守るため白保の人たちが始めた反対運動は今世界的な広がりをみせています。無関心な人だらけのここ東京でもサンゴの海とそこに住む人たちの生活を守ろうと懸命に努力している女性があります。へあぶじやーまの会（の山田 征さんです。へあぶじやーまとは八重山方言でお盆の踊りの名称。白保の人たちと一体になり、彼らの思いをきちんと伝えようと活動をくり広げていらっしやいます。彼女は、この運動を世界にアピールしようとフランス人海洋学者ジャック・クストーさんを日本に呼び、白保海域の調査をすすめたり、「世界自然保護連合（IUCN）」などにも白保の問題を提起してきました。

また、素性のわかる食べ物を食べようと、仲間と自然食レストラン（食べ物屋）を始めたり、これまでの自分の生きざまをまとめた本『ただの主婦にできたこと』（現代書館刊）を出版。反原発運動にも長くかわり、理屈や知識ではなく、自然を本当に知るといふことはそこで自分が生きるといふこととの思いを強くしておられます。自然保護に深い関心を持つナフィサ・ミナイさんが、山田さんをお訪ねしました。

# 白保が危ない！



山田 征さんに聞く

ききて ナフィサ・ミナイ

白保の海のある石垣島ってどんなところなんですか。

石垣島は、沖縄県にあるたくさんの島の中の一つで、本島からは、南に約五百キロほどはなれています。島の周囲は百三十キロほどで、人口は約四万人。特にこれといった産業はありません。製糖工場とパイナップルの缶詰工場ぐらいです。

島の人たちは、主に農業か漁業です。あとは公務員とか、市街地の商店とか、お土産屋さんやホテル・民宿などの観光産業のほか、小さな工場などで働いているようです。

でも島全体が、あまり現金収入がなくても暮らしていけるような所だと思えます。沖縄からは、東京や関西方面に働きに出ている人がずいぶん多いようですが、戻る人もけっこう

ういるようです。いま、沖縄の本島では、だんだんに人口が増えています。

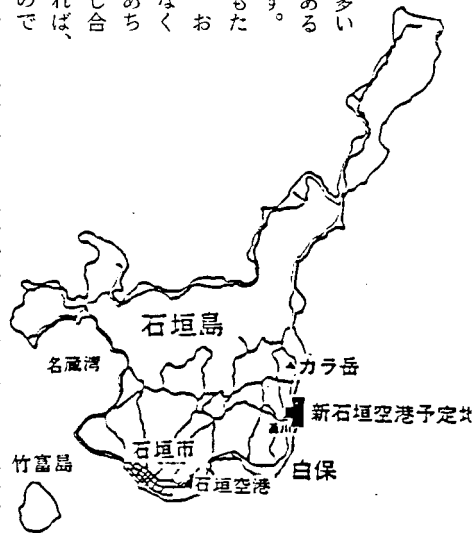
彼らがまた島に戻ってくる理由は何でしょう。沖縄と本土の文化の違いとか、生活習慣、生きる感覚、生きる姿勢などずいぶん違いますから、若い頃都会に出て行っても、しばらくすると、やっぱり島に帰りたいと思うようになるそうです。またそういう人たちだけで

なく、本土の人で、沖縄に移り住む人も多いようです。本島のほうは人口も多いし、ある程度自給自足のできる条件があるようです。小さいながらも、いろいろな産業や店舗もたくさんあります。それに沖縄という所は、お金がなくても働いていなくても、なんとなく食べさせてもらえるような所なのです。あちらでは門中と言って、一族揃って世話をし合う習慣があるようです。少しの収入があれば、魚などもとれるし、それで生きていけるのです。精神的にはとても、ゆったりと楽な所です。本土の人たちのように、働くだけというところではありませんから、やはり自分の島へ帰っていくようです。

白保はどんな村ですか。そこに住む人たちは何で生計をたてているのですか。

白保の人口は約二千人で、ほとんどが農業です。漁業を本業としている人もいますが、漁業組合に登録しているのは、三十三人です。でも部落の人たち全部が、海にはかわっていません。魚も貝も海藻も、全部部落のすぐ前の、珊瑚礁の海、白保の海でとれます。珊瑚礁は浜からリーフまでが約二キロから三キロで、幅は約二十キロ続いています。

漁師さんたちは、「さばに」という小さな



舟で漁に出ますが、歩いてでもできるのです。網やビク、鋸一本かっいでサンゴの海をビクビク歩いて、いろいろなものをとってきます。漁業組合の構成を教えてください。

八重山漁業組合といって、石垣島はじめ、竹富、西表（いりおもて）、与那国、波照間など全部で二十八くらい島の漁師さん約九百人が登録しています。その中で、白保の漁師は三十三人です。そこで問題が起きます。普通漁業組合というのは、自分たちの直接関係する海域の直接の関係者だけで構成されるわけですが、八重山漁協の場合は、とんでもない広い海域をひとつにくっつけてしま、ふだんは全く漁をしない地域の漁師たちが、ただひとつの漁協の組合員になってし

まっているのです。

そのため組合員九百人のうちのほとんどが、白保の海では漁をしないのに、白保の海を売り渡す時には、その売り渡すかどうかの決議権を持ってしまっているのです。いくら白保の三十三人が反対しても、他の八百人以上の人が賛成すれば、数の上では負けてしまいます。白保の人たちにとっては命の海でも、他の人たちにとっては埋めよう何しようとか痛くもなんともないというわけです。そんな中で、白保の海は県に売り渡されてしまいました。

建設計画は誰が最初にしたのですか。その資金はどのようにまかなわれるのですか。

形の上では沖縄県です。沖縄が日本に返還にされてから、今年でちょうど十五年になります。その間日本政府は、沖縄県に対し、特別措置予算という多額の予算を十五年という期限を切って、それこそ特別に投入してきました。そのほとんどは、土木事業に使われています。たとえばダムとか、堤防工事、橋、港、道路工事。最悪なのが、自然の地形にそって出来ている田畑をいっぺんにひっくり返す、土地改事業です。しかもその事業を請負うのは、ほとんど本土の大手企業です。

そして最後に残ったのが、この白保の空港建設事業です。予算は全部で約三百億円で、全部国庫負担です。今までにも漁業補償金などには使われていますが、全額はその事業の進み具合で支給されます。ところが去年沖縄県は、はじめ二千五百メートルの滑走路計画だったのを青サングを守らなきゃならない都合で、五百メートル縮めて、二千メートルにすることに計画変更しました。ところが補償金のほうは、二千五百メートル分として、四億五千万円が支払われていますので、縮めた五百メートル分、九千万円を国に返さなければならなくなつたのです。組合は四億五千万円で契約して海を売り渡しましたので、沖縄県としては、そのへんがややこしくなつてしまつたのです。海を売買すること自体、とてもおかしいと思うのですが……。

八重山漁協としては、そのお金を一人一人の漁師さんたちに支払わないと、本当の売買は成り立たないのです。なぜなら、海の漁業権は、組合のものではなく、組合員一人一人のものなのです。そこで白保の漁師さんたちは揃って、「補償金不受理宣言」という正式の文書を四度にわたって、組合に提出しています。白保は、お金なんかいらない、海を埋

めないでほしい、と訴えているわけです。この補償金は、現在漁協の名前で定期預金にされて、年々たくさんのお金を産んでいます。八重山漁協の他のメンバーはお金をほしいと言っているのですか。

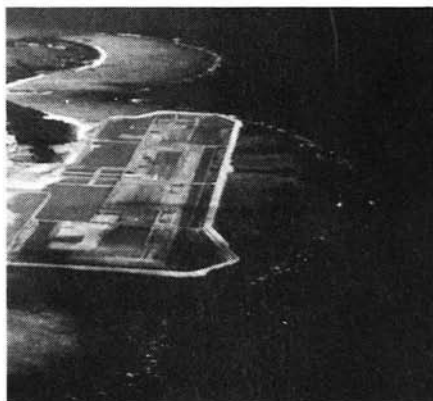
他の人たちは、わざわざいらないとは言いませんけれど、はじめはお金のために賛成したわけではないと思います。ほとんど何だかわからないうちに賛成させられたような状態だったようです。その総会の席にも、全員いたわけでもないし、委任状がちゃんと揃っていたわけでもないのです。ほんとうに、どさくさにまぎれて、とてもいった状態だったようです。今になれば、ぬれ手にアワのようなお金が入るわけです。

石垣島にはボーイング737が一日平均十機離着陸しているんですね。利用率は、シーズンオフで約70%。七月、八月のピーク時には90%。そのうち旅行客はざつと50%という話です。現在ボーイング737が着陸できる千五百メートルの滑走路をもつ飛行場があるのに、どうして空港をもう一つ建設するのですか。

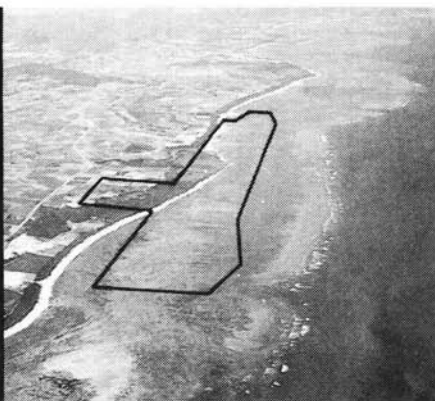
新しい空港の問題が出てきたのは、ちょうど十年前のことです。十五年前本土復帰した時点では、一気に沖縄ブームが巻き起こりましたから、年々うなぎのぼりに、観光客の数

は増えていったわけです。その数字をグラフにして延ばしていきますと、何年後には百六十万人もの人たちが、あの小さな石垣島を訪れるという数字になってしまったのです。そんなグラフの伸ばし方をするのはほんとにおかしいと思うのですが、その数字を根拠にして、巨大空港とジャンボ機の発想が打ち出されてきたのです。

ところが七、八年前からブームも収まり、今度は人々の関心が海外に向いたこともありまして、石垣空港を利用する人の数は、六十万数万人で、ずっと横ばい状態になってしまいました。初めの予想の二分の一にも満たないわけです。ですから私たちは、そんなに大きな空港は要らないのではないかと、言う主張ができるようになったわけです。それでそれらの資料を持って、運輸省とか建設省、環境庁、大蔵省など関係する役所に出向いて行きました。国会議員を頼み、衆参両議会でもとりあげてもらったりする中で、運輸省は利用者数を、年間百万から百万人になるだろうと、「下方修正」をしたのです。それでジャンボ機は要らない、767の中型ジェットにする、と、あちらのほうで言い出したわけです。円高で石垣島の観光に影響が出ていますか。



・建設の泥でサンゴ礁が壊滅した新奄美空港



・ほとんど同じ地形の石垣島新空港

はい、もちろん出ています。田高以前から海外に行く人が増えていますが、その影響は大きいと思います。島に来る新婚さんの数などは極端に減っています。それでも、七月八月はチケットがなかなかとれませんが、他の月とはほとんどガラガラでいつでも乗れます。

政府は東京、大阪その他大都市から石垣島への直行便を飛ばすことで観光産業を刺激する。そのために大規模な空港が必要なのだと断言していますが、ハワイやタヒチなどの群島ではジャンボジェットや他の小島へ飛ぶ小型機が発着できる大きな空港はひとつだけです。本当にこの飛行場が必要なのですか、それとも何か隠された理由でもあるのでしょうか。

この空港の本当の目的は、はっきり言って軍事空港だと思っています。そのことを、しっかりと押さえておかないと、全部の話の辻つまが合わなくなるのです。いずれは軍事空港になるはずのものを、とりあえずは民間空港として造るための理由をいろいろつけているのです。

たとえば、直行便を飛ばせば観光客がたくさん来るとか、農産物水産物を鮮度の高い状態で本土に送れるとかいうわけです。しかし島にはふたつの農協がありますが、そこから毎年度の生産や出荷の状況のわかる資料をとりよせて数字を調べてみますと、高い空輸運

賃を使ってペイするような農産物はほとんどないのです。季節的に、オクラとか里芋が少しあるだけです。カボチャやスイカのような重いものを空輸したら大変です。輸送料だけで高いものになってしまいますから、同じような物を生産する本土の九州ものに価格の面で負けてしまいます。

そこで、四年ほど前に農協では、農家の人の手取りを増やすために、農協に保冷施設を造り、保冷コンテナを使って船舶輸送に切り換えたのです。これには市の予算補助がされています。

ところが、農家の人たちは手取り分が増えたと言んだのもつかの間、空輸農産物のデーターがないと、空港建設の根拠がなくなるといので、最近はまだ無理やり空輸に切り換えられていたのです。私は直接農家の人に聞いて歩きましたので、これは事実なのです。

また漁師さんにしても、聞いてみますと、カツオを空輸して東京の市場で勝負したい、と言うわけです。輸送料のことなど全然頭になくて、ただばくぜんと、空輸すると鮮度がいいと、ただそれだけで、こまかい計算がなされていません。また他の魚は、いわばカラフルな熱帯魚ですから、これは本土では食用

には全く通用しない魚なのです。

とにかく九州あたりのトラック輸送ものの鮮度と価格が、全然計算に入っていないのです。ただ飛行場を造ろうとする行政側の論理だけで人びとが動いてしまっているのです。

しかも大事なことは、島から出る物よりは、その見返りに島外から入ってくる物資の問題です。島の食料の自給率は一五%から二〇%（特に野菜類）と言われています。わかる人は、出るものより入って来るもので島の経済はメチャメチャになるのでは、と心配しています。ほんとうにそう思います。

日本政府は石垣島をどうしようとしてるのかしら、何かやることがありますか。

沖縄が本土に復帰する二、三年前に（一九七〇年頃）アメリカから各分野の専門学者がやってきまして、一、二年かけて島のあらゆる分野の調査を徹底的にやっています。地質調査はもちろんですが、風力、気流、植物、植生、地形、さまざまな分野の生き物、海のことなどいろいろです。その調査結果は、色分けした何枚もの地図になってまとめられています。もし空港を造るとしたら、とか、ダムは、トンネルは、と、さまざまに記されているわけです。それは日本政府の手にも渡っ

ていますが、このことは、私の知り合いが直接その時の通訳兼アシスタントとして働いていましたので全部ほんとうのことです。

本当は米軍の手で八重山あるいは沖縄全体を巨大基地化する構想があったそうですが、実現しないうちに日本に返還することになってしまいましたので、今度は日本政府の手で基地としてではなく、民間施設、設備として次々開発がすすめられていくことになって、巨額な予算が投入されてきたのです。

人口わずか四万人の石垣島には、現在五つ目のダム工事が始められています。まだまだ造る予定と聞いていますが、四つ目の底原（すくばる）ダムなどは、堰止める谷間もないため、わざわざ堤防を築いて東洋一の浴堤だと言って自慢していますが、実際はまるで空港を造っているような眺めなのです。なんでそんなにダムが要るかといいますと、飛行機や船を置いた時、塩害にやられないために毎日真水で機体を洗わないといけないそうです。ダムからの水路を調べてみますと、全部、現空港とか、新空港、そして、いま拡大工事中の港のほうへと伸びているのです。

いつからダム建設が始められたのですか。  
四つ目の一番大きな底原ダムは、空港の計

画が出てからで、五つ目のは三年ほど前から始められています。

ほかにどんなプロジェクトが計画されていますか。あるいは進行中のものがあるのですか。

ほかには先程の港の拡張工事ですが、これは二年ほど前から始められ、予算は空港建設より多い三百五十億円です。規模は、一万トン級の船が二隻、五千トン級の船が二隻着けるバースを持ったものです。

そんな大きな港の建設にものすごいお金を費やす根拠はなんですか。

これも軍事基地として考えれば、話の辻つまは全部きれいに合うのです。この港の表向きの目的は、やはり空港と同じで、たくさんの観光客と、島の農水産物を島外に輸送するためです。

両方とも同じ目的のために、巨大空港と巨大港を造ろうとしているわけですが、両方の数字を合わせたとしてもないことになりません。そして港からは、現空港に向けて道幅の広い新しいバイパス工事が始められています。市も県も、新空港が出来たら、現空港は、憩いの森公園にすると断言しています。

皆さんバラバラに見ていきますから、全体の構造が見えてこないのです。（以下、次号に）

## かすかな声



布施 優子(NTV)

今年もまた、八月十二日がやってきた。早いもので、一九八五年八月十二日に日航ジャンボ機が群馬県の山中に墜落してから、もう三年がたった。当時、私は外務省を担当していたが、この大ニュースにはいろいろな形でかわった。中でも決して忘れることのできないのが、奇跡的に命をとりとめた川上慶子ちゃんのインタビュだ。

その日、私は日航機事故関連のニュースの仕事を手伝うため、外務省の記者クラブから本社へ戻った。報道局へ入っていくと、いつもの騒がしさはなく、シーンと静まりかえっている。広い部屋で聞こえているのは、女の子の声だけ。その声こそ、群馬県の藤岡市の取材本部からマイク口中継で送られてきている慶子ちゃんの声だった。

私は、デスクからの指示で、看護婦さんによるこのインタビュを、夕方のニュース番組用に編集することになった。改めてVTRでインタビュの全編を聞いた。慶子ちゃんは、日航機が墜落した時の様子、お父さんや妹の咲子ちゃんは墜落直後は生きていて、お互いに励ましあったこと、でもその後二人とも静かになってしまったこと、ヘリコプターで救出された時も家族のことが気がかりだったこと……こんな小さな少女が地獄の体験をしたのだ。でも彼女は涙をみせることもなく淡々と語っていた。十分ほどのインタビュの後、インタビュアーをつとめた看護婦さんが言った。

「慶子ちゃん、笑ってないよ。ほら、笑ってっっん」

慶子ちゃんは一瞬、テレビカメラに向かって笑顔を見せた。でもすぐにこわばった元の表情に戻ってしまった。そしてか

すかな声で、本当に耳をすまさなければ聞こえないほどの小さな声で言ったのだ。

「笑えないよ」

私は、二分程度に編集したインタビュの中で笑顔のカットは使わなかった。うまく説明できないが、笑顔のカットを使うのは嘘だと思ったのだ。でもその晩引き続き仕事をしていたら、現場へ行っていたスタッフの一人が本社へ戻ってきて私のところへ来た。大変な剣幕で怒っている。

「地獄を見た子が笑ってくれたのに。生きるってそういうものじゃない」

結局、夜中のニュースでは、慶子ちゃん的笑容を放送した。でも私の中では釈然としないものが残った。まわりが無理に笑顔をつくらせて、「すっかり明るくなった慶子ちゃん」なんてキャプションをつけて放送するのは事実の報道とは言えない。でも、翌日の新聞の朝刊は、すべて慶子ちゃん的笑容の写真を大きくのせていた。私は、胃がキリキリと痛んだ。慶子ちゃんは、このあともしばしば報道陣の取材攻勢にさらされた。でも私の見た限り、二度とテレビカメラに向かってはほえむことはなかった。

(批評の語学力とセンスで海外のジャーナリストからも注目されている布施さんは、今は厚生省詰め。「生命の大転変」を改めて思う日々」のなか、「記者だって一種の売れだから、売れ道具の一番高く売れそうな部分を前に出すのは当然のことかもしれない」ことも、この頃は思うようになったという。入社七年目。)

フィリピンは十年以上も深刻な経済危機に陥っており、アキノ政権下でもさらに悪化の一途をたどっている。この経済危機が、売春のための不法なリクルートはもとより、メールブライド業ブームに貢献する主な要因となっている。

メールブライド・ビジネスは収益の多い産業である。もっともデータをつかむことは難しいが、国際結婚斡旋業者は、西ヨーロッパ、アメリカ、日本、オーストラリア、ニュージーランドなど先進諸国の男性客の利益のために商売をしている。業者と契約すると、男性には将来妻となるフィリピン女性の広範な個人データが提示される。このデータは文書とビデオを含む写真などで、柔順、家庭的、忠実、愛らしいといったフィリピン女性のステレオタイプを強調している。

結婚が純粹に行動の主目的となる場合もある。すでにどの女性にするか決めてからも、同時に多くの女性と文通する男性も多々いるが、女性といえば、個人的な文通に頼るしかなく、女性が支払える登録料（二百―五百ペソ）に応じてランクづけされ、そのランクに基づいて将来の夫になるであろう男性にのみ接触できる。

いったん夫あるいはフィアンセと一緒にになると、時間をかけて慎重に決める普通のプロセスを省略したこの関係では、二人の間にひびが入るようになる。もちろんうまくいくカッブルもいる。しかし、多くが寂しく孤独であったり、惨めだ



## ストップさせよう！

## フィリピン女性の商品化！

ったり、虐待をうけたり、法的な保護もなく捨てられた、といった状況にある。

にせりクルターにだまされた女性は、性的なクラブに連れてこられ、これがおまへの仕事だといわれて初めてだまされたことに気づく。彼女たちは囚人同様で、逃げおおせることができてはじめて自分たちの体験を語ることができるので、こうした状態がわかるのに数か月あるいは数年かかる。

このフィリピン女性の輸出産業に対する懸念はますます大きくなっている。イギリスではフィリピン女性支援委員会が結婚業者の実態について調査を行なった。メールオーダブライドの犠牲者であるフィリピン女性レオヴィーのケースはイギリスのマスコミを賑わし、オランダでは、売春用のにせりクルートの犠牲者ネナのケースでやはりこの実態がオランダのマスコミで大きく取り上げられた。多くの組織、特に

Stichting Tegen Vrouwen Handel（女性売買に反対する協議会）はもとより、女性の国会議員がこうした女性搾取の形態に反対するキャンペーンを行なっている。

スウェーデンでは、メールブライド現象（ほぼフィリピンまたはタイ女性）が国民の関心を集める問題となっている。

昨年六月には、この問題に関して、女性一万一千人の署名を集めた嘆願書が同国の法務大臣宛に提出された。

海外フィリピン協会のプログラムの一環として、「フィリ





## ソロバンから

## コンピューターへ

手塚 治子

(私立高校時間講師)

私の仕事の出発は一万台の機械の原価計算をソロバンではじくことから始まる。昭和二十八年頃の日本は朝鮮戦争の特需ブームで経済復興が著しい時であった。世界的な技術革新の波の中で外国からの技術導入をしたり、独自の技術開発を進めたりするさまを一企業の中から見つめてきた。ソロバンはやがてタイガー計算器にとってかわられたが、その単調な仕事の合い間に工場の曇りガラスを通してみる空はどこまでも広く、いつか世界にはばたきたいと、日毎に憧れをふくらませていた。「鎖につながれた巨人」「世界をゆるがせた10日間」「裸で狼の群の中に」などを読みながら、広い世界を夢見ていた。

原価計算のかたわら、工業図書の管理もまかされていたので、技術系の職員や部課長クラスまでまきこんだ外国の新技術導入やOR図書の輪講や独自の技術改革など、工場の中は日毎にオートメ化され整備されていた。幼い目にもそれは目を見はるばかりであった。

やがて家の状況が、自分の身体は自分で処してもよいものとなり、二十一歳で働きながら大学の数学科へと進学した。共済組合の統計課とか、銀行の審査などでアルバイトをした。タイガー計算器は電光式の計算機に昇格していた。中の職員から「あなたが大学を卒業する頃、この丸の内界隈の会社のほとんどはコンピューターの端末機を導入しているだろう」ときかされた。

やがて国家公務員として大学の研究室で働くようになったが、そこでは予算の貧しさからか、実験データの整理などはまたまたタイガー計算器であり、世界的なシンボジウムの収支決算はソロバンの活躍であった。

そして大学卒業後、数学講師として、保育条件をつくりながら、今の高校で働いている。

高度経済成長期、人々は大量生産、大量消費に励み、早いこと、大きいことを良しとし、情報化社会の到来を予言していた。お正月、NHKテレビでコンピュ

「ター特集を連続放映していたが、そこに展開される先端あるいは近未来の世界は私たちの想像をはるかにうわまわるものであった。人を幻惑さえもする。」

しかし一方で操作する主体が人間であることを忘れ、「何のためのものであるか」を抜きに、人間が機械に支配される危険を思うと、人が人として生きる最低の生存権さえもが奪われてしまはいはしないかと恐れる。人びとの物欲崇拜に、就

職状況の激変にその危惧を覚える。ソロバンを弾いて「自然を征服する」などといっていた良き時代はすでに終わった。早いことも大きいことも良いこととはい

い難くなってきた。衛星を打ち上げて見た地球は美しくも小さく、そこに住む人間も自然の調和の中でのみ生きることを許される存在でしかなかった。今、未来を踏み荒らしているともいえるこの状況をメスを入れない限り子どもたちに未来



## 「かながわ女性△云議」 事務局長選任について

かながわ女性会議 深沢淑子

日頃、女性問題解決のためにご尽力をいただき、ありがとうございます。

「あいら」一三〇号「欄」に掲載された、「かながわ女性会議」事務局長選任について、機構検討委員会の責任ある立場にある一員として、事実経過と見解の一端を述べたいと思います。そして事柄は、投書にあるような、行政に「からめとられてしまう」というようなことでは決してなかったことを、はっきり述べておきたいと考えます。

### 1. 事務局体制の強化について

既に御承知のとおり、かながわ女性会議は神奈川県全域にわたり、それぞれが独自の活動を活発に行っている団体や個人が、女性問題の解決と、男女共同社会の創造をめざして集う民間の団体です。それぞれの活動は広域にわたり、多様な領域に及んでいます。

そうした基盤をもつ女性会議の活動も、県下全域に広がっています。

会の目的達成のための、会員の十分かつ主体的な活動を支え、女性会議を発展させていくために、事務局体制の整備・強化の必要性が、ここ数年、女性会議の中から高まってきたおり、総会の審議のなかでも繰り返し論議が行われていたことは周知の事実です。また、会の新たな発展のために、昨年から常任委員会に機構検討委員会を設け、そのなかで事務局体制についても論議を交わし、会員からの意見もとめてきました。

## 2. 事務局長選任の経過について

女性会議としては、当然のことながらあくまでも自主的な人選をすすめることを第一としてきました。その候補者が八人（女性のみ）にも及んだことを、今回の総会で代表が報告しています。県も、年度末いっぱいまで女性会議の自主的な決定を待ちましたが、残念ながら時間的な制約のなかで実現に至らず、『次善の策』として今回の決定にいたった経過があり、県主導によるものでも、また、性別役割分業観にもとづく人選でないことも明らかです。

## 3. 情報の公開について

現実の問題として当面女性会議の自主財源だけでは運営に限度があります。

ともに「かながわ女性プラン」の実現をはかり、男女共

同社会を創造しようとしている県の姿勢があつて、かながわ女性会議の活動が支援されています。

県の予算については、それが決定するまではオープンにすることができにくいという事情があることは、理解していただきたいと思います。

## 4. 事務局職員の給与について

投稿された方は具体的な数字をあげておられますが、これらの数字は事実とは大きく異なっていること、及び、性別による違いではないことを明らかにしておきたいと思えます。

給与等には、それぞれの仕事に対する経験などからくる差はあつても、男女差別はありません。給与の違いは、むしろ、女性の中断再就職に起因するものといえましょう。

## 5. 事務局の位置付けについて

かながわ女性会議のような多様で、しかもそれぞれが活発な活動をもつ会員が、県下全域のネットワークを組みながら運動をすすめていこうとする自主的運動団体にあつては、事務局は運動を発展的に展開していくためのサポート的な役割を担うものであつて、いわゆる女性会議の「顔」などでは毛頭ありません。

そして、女性会議の主体はあくまでもそれを構成してい



Woman 婦女 Mujer 女 Donna 여성 Femme أنثى Babae

## 最先端国際フェミニスト用語 ー今、生きているフェミニスト英語ー

最もビビッドなフェミニスト辞書を武器に世界のフェミニストたちの和を広げよう！ そうした想いを胸に、今月号から<あごら>ならではのフェミニスト英語講座の連載が始まります。<あごら>英語可能性教室講師バーバラ・イエーツを中心に十年近くこの教室を継続してきたメンバーと事務局スタッフが担当します。

今をときめく生命工学、フェミニズム論からごくごく身近な言葉まで、誰にでもわかる簡潔で手軽な「英・日フェミニスト用語集」づくりをめざします。

フェミニストの世界では女性の現実に即して言葉の広範な検証が行われています。単語そのものやスペルが時々刻々変化しています。そのホットな動きをさめないうちにお届けします。あんな言葉こんな言葉、あなただけが知っている情報、そして質問など、どしどし事務局までお寄せください。また私たちの叙述に間違いを発見されたり、もっと良い表現をお考えのときも、率直にお知らせください。そしていっしょにこの「辞書」づくりに参加しませんか。

先ず第一回目は、まさに“女性自身”を呼ぶもろもろの呼び名、特に“女性・女”“淑女・レディー”“女の子”を検証してみました。

### WOMYN/WIMMIN (WOMAN/WOMEN)

Variations on the traditional spelling of the singular, WOMAN, and plural, WOMEN reflect a growing consciousness of the need to define our own reality. Since the word “man” and “men” are included in the ordinary spelling, many feminists on English-speaking countries choose the new spelling to semantically (semantically) end the implicit dependence on myn (men). In common use in feminist publications.

WOMAN (単数形)、WOMEN (複数形) と綴る伝統的スペルから WOMYN (単数形)、WIMMIN (複数形) への変化は、私たち女性自身の現実を明確に表さなければいけないとの意識がますます高まりつつあることを反映している。“MAN”と“MEN”の単語のスペルは従来のものであるため、男性に盲目的に依存するのをやめようとの意味を込めて、英語圏の多くのフェミニストたちは新しいスペルを使っている。フェミニスト出版物で多く使われている。(ただし、試験には使わないこと。減点必至。)

## LADY

The term is rapidly going out of use. Originally described a woman of the upper class, or a woman affecting the style and grace of the upper class.

この単語は急速に使われなくなってきている。元来、上流階級の女性や上流階級風であったり、そうした品位が備わっている女性に対して使われた。

## GIRL

Refer to female children (up to around 18 years old), never to adult women.

女の子（せいぜい18歳ぐらいまで）を呼ぶときに使われ、けっして成人の女性には使わない。

女 ONNA おんなの語原はおみな。おみなは大女成（おおめなり）の略で、本来、年をとった女、老婆を意味する。ちなみに大人は大人成（おおとなり）、翁（おきな）は大成（おおきなり）と言った。英語のwoman に相当する人類のメスをあらわすことばは女（め）。「め」として単独に使われるほか、女親（めおや）女神（めがみ）女の子（めのこ）女の童（めのわらわ）などのように使われた。愛（め）づべきもの（いとしいもの）の略という説がある。

年若い女は、年少を意味する弟（おと）をつけて、「おとめ」と言った。古事記では、伊邪那美命（いざなみのみこと）が、伊邪那岐命（いざなぎのみこと）に、まず「あなにやし えおとこ（美しい男よ）」と呼びかけ、伊邪那岐命が答えて「あなにやし えおとめ（美しい女よ）」と言っている。

中世には、「男もすなる日記というものを女もしてみむとて（『土佐日記』）」のように、おとこ（男）おんな（女）が一般化した。

しかし、日本語の会話では、西欧のように、he、she を必ずしもはっきりと区別しない。男女を問わず「あのひと」と言うのが普通で、「あの男」「あの女」と言うときには、男や女に、ある種の感情がこめられていることが多い。

近世以降、情婦などの隠語としても「おんな」が使われるようになってから、「おんな」にはやや賤親のひびきが加わり、尊称としては「婦人」、「ご婦人」が使われるようになった。

70年代の日本のリブは、好んで「おんな」、「女」を強調したが、これは、black is beautifulと同じように、ことばばかりでなく実態としてもいやしめられるようになった「女」の復権を目指したものであった。

フェミニストは、婦人ということばを嫌い、女、おんな、女性を好んで使う。婦は「説文解字」（後漢・中国の辞書）によれば「服する」意味、女が箒を持って掃除をする姿を象った、とある。「白虎通義」（後漢・中国）には、礼を以て屈服する意味、あるいは、家事に服し、人に仕える意味とある。＜あごろ＞では、「国連女性の10年」「女性差別撤廃条約」と言っているが、公文書は依然として

「婦人」が使われている。

なお、ladyに、厳密な意味で相当する日本語はない。淑女はladyの訳語として使われるようになったが、日本語としては、片かなのレディーのほうが、より一般的に使われていたかもしれない。西欧でも今日では、Ladies, Gentlemenは、集会などの冒頭のあいさつか、トイレの表示にしか使われなくなったが、もともと日本ではそれほど普及していたわけでもなく、トイレの表示は、一部のデパートが、「ご婦人」・「殿方」と表示しているほかは、おおむね絵表示になっている。性別を表示するのにシャイな日本人の感情ともマッチしているのだろう。

### 女流 じょりゅう JORYU

女流画家、女流作家というように、画家や作家の前につけて使われるが、女流だけ単独で使われることはない。またこれに対する男流という言葉は見当たらない。女流には、女だてらに、男性の職業についたという意味が感じられる。若桑みどりさんは「女流画家の系譜」をあえて、「女性画家列伝」に改めて、刊行された。

### 女の子 おんなのこ ONNA NO KO

文字どおり、子どもの女を表わす言葉。英語のgirlからbaby girl までの年代を含むが、職場で上司ばかりか同僚までが、大人の女性を、「女の子」と呼ぶことが問題になっている。この場合明らかに軽蔑語として使われている。女の子はせいぜい高校生くらいまで。成人式を過ぎた女性や職場で働く一人前の女性を女の子呼ばわりするのは不適切である。

あとがき

●札幌は今一番さわやかな季節。泊原発反対運動が大詰めを迎えている。何とか知事の反対表明にこぎつけたものだ。こんな運動には手渡しのミニコミが大きな役割をになう。編集しながら、あらためてミニコミとは何かと考えさせられた。

二人ぼっちの編集はともすれば、一休みの時だけ元気になる。集めたミニコミに読みふけてしまったりもする。

「月刊あごら」というミニコミが、できるだけ多くの女たちの手に渡ってくれるようお願いしつつ、何とかかんとかつくりました。御協力下さった皆様、ありがとうございます。  
(札幌・細谷・今村)

●前半は札幌、早々とステキなレイアウトで仕上げて下さったのに、遅くなって申しわけないことでした。白保のインタビュアー、ミナイさんが、一字一字、漢字かなまじり文でテープおこし。その熱意と責任感に打たれて待ちました。ぎゅうづめの事務局のページは、いつも、お金、お金優先の悲しい名残りです。スママセン。  
(事務局)

（お知らせ）上記「国際フェミニスト用語」の和文、「女」「女流」「女の子」の英語訳文を用意しておりますご希望の方は、コピー代として三百円分の切手、ご自分の氏名・住所を明記し、六十円切手を貼った返信用封筒を同封のうえ事務局までお申込み下さい。